

韓国と日本における市民社会の認識と分断・第1回研究会

Late Industrialization Tradition, and Social Change in South Korea

韓国における遅れた工業化、伝統、そして社会変容



Yong Chool Ha

University of Washington 教授

ソウル大学校外交学科卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校で政治学博士号を取得した。長年ソウル大学の教授を務め、現在は米国ワシントン大学にて韓国学研究所長を務めている。主な研究分野は比較政治学および社会学であり、特に後発国(韓国、日本、中国、ソ連等)の発展プロセス、ソ連・ロシア政治、ロシア極東地域、韓国の国内・国際政治、南北関係、東アジアの地域政治・国際理論、近代化に伴う社会構造の変化に焦点を当てている。主な著書として、『Late Industrialization, Tradition, and Social Change in South Korea』(2024)、『후발 산업화와 국가의 동학 (後発産業化と国家のダイナミクス)』などがある。

主催：東京大学韓国学研究所センター / 後援：韓国国際交流財団
連絡先： cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp (東京大学韓国学研究所センター事務局)

韓国は、世界でもまれなスピードで経済成長を遂げた。その背景には、政府の政策だけでなく、家族や出身地、学校のつながりといった人と人との「縁」が大きな役割を果たしていた。本講演では、こうした伝統的な人間関係が、どのように財閥の成長や産業発展を支えたのかを読み解く。また、韓国の経済発展を手がかりに、伝統的な社会の仕組みと近代化がどのように結びついたのかを考える。

日時：2026年7月27日(月) 15時
-17時30分

場所：東京大学駒場キャンパス 18号
館 コラボレーションルーム 1

言語：韓国語(日本語逐次通訳あり)

●参加希望者は、下記のウェブフォーム(QRコード)またはメールでの登録をお願いいたします。当日の注意事項などについて、メールでご連絡を差し上げます。

事前参加登録：<https://forms.gle/SXJ1vLraX9Dh16yg8>



도쿄대학
한국학연구센터
東京大学韓国学研究所センター
IAGS-CKS.UT



KOREA KF
FOUNDATION
한국국제교류재단